

産技連分析分科会平成23年度第三回運営委員会議事メモ（案）

日時：2011年11月30日（水） 17:00～19:00

場所：KKR 熊本（〒860-0001 熊本県熊本市千葉城3-31） 立田・花岡の間

出席者：三神武文（山梨県）、永岡昭二（熊本）、坂尾昇治（埼玉）、南秀明（京都）、門家重治（愛媛）、工藤素（秋田）、杉内重夫（福島）、衣笠晋一・福本夏生・一石節子・松本信洋（産総研）

会議に先立って、自己紹介が行われた。

司会：衣笠晋一 分析分科会運営委員会委員長

1. 前回議事録確認

特に各委員からのコメントはなかった。何かある場合は来週中に松本まで連絡。

2. 年会の最終確認

衣笠委員長から、主に前回の運営委員会で決定した事の確認の依頼があった。

- ・タイムスケジュール確認。開催県の挨拶は年会以外の機会にお願いしている。挨拶が重複しないための措置。
- ・大橋委員が所用により当日到着が遅れるため（13時熊本駅到着予定）、（1）リモナイト（司会：南委員）と（2）重金属含有プラスチック（司会：村岡委員）の順番を入れ替える。
- ・認定書手交は神奈川県の子田氏を選定。この時の司会は衣笠委員長。
- ・講演ファイルは朝会場でPCに入れる。パスワード等は開催県で管理。
- ・写真撮影は年会終了後、交流会会場の隣の部屋に移動して撮影。

3. 次年度以降の計画について

・杉内委員から24年度分析分科会分析技術共同研究試料について、資料に基づいて、研究試料の概要等について説明があった。昭和電工と相談の結果、A2014に変更となった。サイズの「φ35」は間違いで、正しくは「φ33」。昭和電工にとって集計データを入手できるのはメリットがある。昭和電工に集計データを提出するときは、分析者が特定されないように配慮。環境テクノスZnとTiどちらを分析対象成分として決定するか？→もう一度昭和電工さんと話をしてみるが、Tiの方向で考えている。参考として、Ti添加の理由を昭和電工に問い合わせ。

4. その他

- ・部会総会の司会は衣笠委員長。

- ・開催県委員の旅費について原則は産総研で支給
- ・計測分科会・総会と一緒にだと開催県の所長が3日間拘束されるのは負担。その反面、年会・総会共に参加しやすい。
- ・共同分析 無機分析結果の確認。強熱減量の結果がばらついている。参加者の昇温速度を制御している人が多い。年会当日に、igloss をやった後にとりわけないで分解した方が良いのかどうかなどを議論。
- ・年会会場の席順は、必ずしも運営委員・講演者に前に座ってもらう必要はなく、「縦」の順で配置した方が他県の参加者との交流の機会が持てる。

以上